



SSH通信

第29号

令和5年11月30日 発行
 東京都立富士高等学校
 東京都立富士高等学校附属中学校
 〒164-0013 東京都中野区弥生町五丁目21-1
 電話 03-3382-0601
 最寄駅 東京メトロ丸ノ内線 中野富士見町駅

課題研究スタート

附属中学校でも課題研究がスタートしました。2月に行われる探究発表会に向けて、全学年で数値を根拠に考察する課題研究に挑戦します。科学の甲子園など、外部のコンテストや研究発表会に挑戦する生徒も増えています。

富士未来学Ⅰ「課題研究（富士山）」中学1学年

中学1学年は、富士山をテーマに課題研究を行います。富士山に関するデータを収集し、「データ分析講座Ⅰ」で学習したことを活用して、分析した結果をポスターにまとめます。生徒は、それぞれの研究課題に応じて適切な分析方法を選び、グラフを作成したり、図を作成したりしています。今回、データの分析について、明治大学総合数理学部現象数理学科で専任教授をされている中村和幸先生にご指導いただきました。質問の列ができるほど、熱心に質問する様子が見られました。どのような分析をしたか、2月に行われる探究発表会が楽しみです。



専門家に質問

富士未来学Ⅲ「ゼミ活動」中学3学年

中学3学年は、ゼミごとに分かれて、グループで課題研究を行います。決められたテーマから、研究課題を設定します。立案した計画に基づいて、実験をしたり調査をしたりする姿が見られました。「データ分析講座Ⅲ」で学習したことを活用して、分析した結果をポスターにまとめます。特に、t検定などの仮説検定の活用に挑戦します。左の写真は「ゼミ活動」の様子です。



富士未来学Ⅳ・Ⅴ「研究計画書講座」

高校1学年・高校2学年

「研究計画書講座」では、研究課題を設定する場面と研究計画を立案する場面で異学年交流が行われます。

11月は研究計画を立案する場面です。高校1学年からは「様々な研究の方法やテーマの決め方を教えてもらったので、生かしていきたい」「もう少し実験内容を具体的にしたい」「先行研究を事前にしっかり調べて、参考にしたい」、高校2学年からは「今後自分の研究や論文でも、言葉の定義づけなど、細部を再度確認し、調整していきたいと思った」「アドバイスしたことが自分にも言えることだと思ったから、自分の研究に生かす」といった感想が見られました。



検証可能な仮説とは

富士未来学Ⅴ「ラボ活動」高校2学年

「ラボ活動」では、課題研究も大詰めを迎えており、各ラボで実験や調査に真剣に取り組む生徒の姿が見られました。高校2学年の2学期は、これまでの研究の成果を論文にまとめて提出します。明治大学の中村和幸先生にお越しいただき、富士未来学で学習した内容を基に、より発展させた分析手法についてご指導いただきました。右の写真は「ラボ活動」の様子です。



放課後理数教室

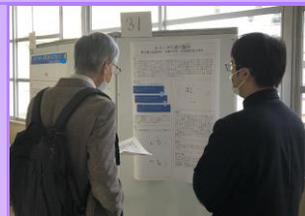
本校で開催

科学の甲子園東京都大会

11月12日(日)に本校で科学の甲子園東京都大会が開催されました。午前には筆記競技、午後には実技競技が実施されました。事前の放課後に開催した放課後理数教室には、科学の甲子園東京都大会に参加したことがある卒業生が支援に来てくれました。

Adv.小石川フィロソフィー生徒研究発表会

11月23日(木)に開催されたAdv.小石川フィロソフィー生徒研究発表会に、科学探究部化学班の生徒が参加し、「オランダの涙」についての研究成果を発表しました。他校の生徒や教員の前で発表し、大いに刺激を受けました。



「オランダの涙」



「自転軸の軌跡」

優秀賞 実技Ⅱ部門

Tokyoサイエンスフェア

11月25日(土)東京ビッグサイトで行われたポスター発表に、科学探究部天文班の生徒が参加しました。また、同日に行われた表彰式では、7月に行われた中学生科学コンテストで部門賞を獲得した中学2学年の生徒3名が表彰式に参加しました。

第6回理数セミナー 11月11日(土)

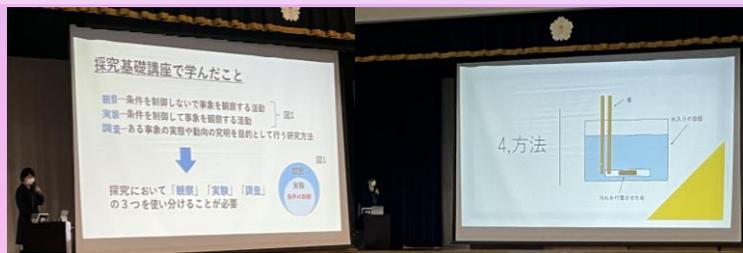
「工学のスヌメ～宇宙から教育まで～」

講師 江戸川大学メディアコミュニケーション学部情報文化学科
准教授 山口敏和先生

宇宙工学、情報工学、教育工学などの様々な工学の分野に触れることができました。参加した生徒からは「実験を繰り返して、疑問を見つけて、その疑問を解決するために試行錯誤することが、工学では大事だと思った」といった感想が聞かれました。



工学とは



富士の代表として堂々とした姿での口頭発表

第2回学校説明会 11月4日(土)

学校説明会で代表生徒による口頭発表を実施しました。中学3学年は「プレ課題研究」、高校2学年は「汚れの落ちやすさと水の種類」について発表しました。